

本庄南ロータリークラブ



会報

例会日 毎火曜日 19:00~20:00
 例会場 埼玉グランドホテル本庄
 事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-004本庄市駅南2-2-1
 Tel : 0495-23-0141 / Fax : 0495-23-0141
 E-mail : rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 矢部 一臣 会報広報委員会 / 委員長 飯塚能成
 幹事 星野 栄一 / 委員 木村真純 堀川 明

第70回例会 11月25日(火) 発行 平成20年12月2日

司会 / 奈良橋秋夫 SAA
 点鐘 / 19時00分 矢部一臣会長
 ソング / 我等の生業
 里の秋
 ゲスト / ロータリークラブ 2008-2009行田サミット委員長 小菅克祥 様
 行田商工会議所 (サポーターの会事務局) 榎原聖典様

会長挨拶

矢部一臣 会長



名誉会員 (Honorary Member)

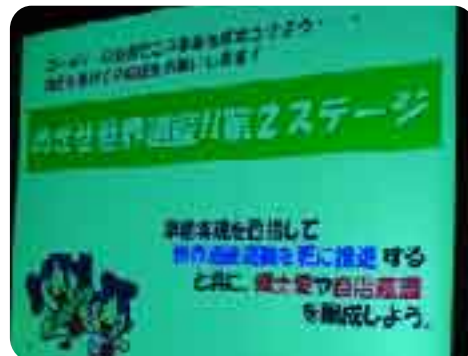
皆様、今晚は、
 行田ロータリークラブ小菅克祥様、
 行田商工会議所サポーターの会事務局榎原聖典様、
 本日は、ようこそ、当クラブへいらっしゃいました。
 後程、さきたま古墳群に関するお話、よろしくお願い
 いたします。

過日の新聞掲載によると人口減少に伴う経営難
 で32都道府県の153町村が今後、ガソリンス
 タンドがなくなる恐れがあるということです。県
 北地域では、秩父郡横瀬町、長瀬町などにその恐
 れがあるということです。山間地の需要が少ない
 地域でも周辺の価格が値段を下げると同時に価格
 を下げざるを得ません。しかし、限られた需要で
 は経営状況が厳しくなります。山間地には、一人
 暮らしのおじいちゃんやおばあちゃんも多く、『灯
 油を配達してくれなくなったら困る。』という人
 は多い。このガソリンスタンドの問題に限らず、
 多くの点で弱者に厳しい社会状況や傾向は、良く
 ないと思うのは私ばかりではないようです。

さて、本日のロータリー情報は、名誉会員 (Honorary
 Member) です。

名誉会員 (Honorary Member) とは、ロータリー
 ジャパンのロータリー用語によると、クラブの名
 誉会員に選ばれた、ロータリーの理想推進のため
 に称賛に値する奉仕をした人、または恒久的にロ
 ータリーを支援し、ロータリーの友人とみなされ
 る人。名誉会員は、入会金および会費の納入を免
 除されるが、投票権をもたない。クラブのいかな
 る役職にもつくことができない。しかし、クラブ

のあらゆる会合に出席することができ、クラブの
 特典を享受することができる。かかる会員の身分
 の存続期間は、クラブ理事会が決めるものである。
 ということです。





- ・ 週報、その他、回覧します。
- ・ 真下和男ガバナーからの公式訪問の御礼が届いていますので、発表します。

・・・貴クラブへのガバナー公式訪問は午後4時30分より矢部一臣会長、星野栄一幹事、3年未満の入会のフレッシュ会員山川裕夫氏、松島雄二氏、体験入会者野原氏を交え、ベテラン会員小松政敏氏、春山良夫第4グループガバナー補佐の立会いを得て開始されました。貴クラブから地区委員として、会員増強・維持強化部門委員長として浅田進氏、広報会報委員会委員として長沼章氏、ライラ委員会委員として山田勝治氏の協力を得ています。決して大きなクラブではない浅田氏を一番重要な部門の委員長にお願いしたのは、同氏の分析力とロータリーに対する熱意に期待したからであります。当地区ロータリーは最大2800名から現在2000名程度になっていますのは、様々な理由があります。浅田氏の熱意は各クラブの会長さんを始め、会員の皆様のお力で実現できるものであります。ロータリーの活性化で地域社会への奉仕と世界奉仕とが少しでもプラスできればとの願いを実現すべく、矢部会長、星野幹事への会員の皆様の一層の御尽力を頂戴できるようお願いして、有意義であった貴クラブの公式訪問に感謝し、御礼のご挨拶とします。

卓話 世界遺産キャラバン隊



行田 RC 行田サミット委員長
小菅克祥 様
行田商工会議所 サポーターの会
樫原聖典 様

行田市にある「さきたま古墳群」は昭和13年に国指定の遺跡になり、昭和43年稲荷山古墳で出土した「金錯銘鉄剣」などが、昭和58年国宝に指定されました。

埼玉県知事の「さきたま古墳群は世界遺産に登録される価値が有る」との発言を契機に、行田市・行田商工会議所が中心となり、世界遺産登録へ向けての取り組みを行っております。

先ず、世界遺産登録へ向けての第一歩として、国指定の特別遺跡への格上げをめざし埼玉県が動き始めました。私たち民間人も、世界遺産登録活動を支援し広報するための「世界遺産サポーターの会」を立ち上げました。

世界遺産条約の要約
貴重な文化財（文化遺産）や自然の景観（自然遺産）は、どこの国のものであっても人生全体にとって貴重なかけがえの無い財産です。これ等価値ある財産がその一部でも損壊や滅失によって失われることになれば、世界の人々にとって遺産が損なわれる事になります。

このような考えから国際協力と援助のシステムを確立して文化財や景観を次世代へ大切に伝えていく制度です。

世界遺産の種類と数（2007年7月現在）
文化遺産660 / 自然遺産166 / 複合遺産25 / （危機遺産33）

日本にある世界遺産
文化遺産：法隆寺地域の仏教建造物 / 姫路城 / 古都京都の文化財 / 白川郷五箇山の合掌造り集落 / 原爆ドーム / 厳島神社 / 古都奈良の文化財 / 日光の社寺 / 琉球王国のグスク及び関連遺産 / 紀伊山地の霊場と参詣道 / 石見銀山遺産とその文化的景観

自然遺産：屋久島 / 白神山地 / 知床
・・・・・・・・・・

まず、埼玉県と行田市は、埼玉古墳群の世界遺産暫定一覧表への追加記載について、平成19年9月18日に文化庁へ提案書を提出しました。

これまでの経緯

「さきたま古墳群」は昭和13年8月に国の史跡として指定を受けました。
昭和42年3月さきたま古墳公園都市計画決定（30ha）古墳公園としての整備がスタート。
昭和43年、「さきたま風土記の丘」建設に伴い、稲荷山古墳1基を発掘調査し、鉄剣を発見。
昭和53年、鉄剣から銘文が発見され、昭和58年、副葬品と共に国宝に指定されました。
平成9年、古墳公園都市計画決定拡張変更（97ha）同年事業認可変更（58.5ha）

土地買収されながら、又、上田埼玉県知事が報道各社との懇談会の中でさきたま古墳群の世界遺産級の価値を認めていながら、さきたま古墳公園の整備が遅々として進行していない事について、平成16年10月の埼玉県議会で、鈴木県議会議員が質問した事に対する答弁の中で、上田知事は「さきたま古墳群は、世界遺産に登録される価値が有る。」と改めて公式の場で発言されました。

この発言を受けて、行田市内に於いて、「さきたま古墳群を世界遺産に（登録しよう）！」と言う声が出始めました。

16年12月 市議会において「さきたま古墳群の世界遺産登録について」の一般質問もされました。

17年4月 商工会議所が「さきたま古墳群世界遺産申請準備会」を設置、勉強会を始めました。

17年4月 埼玉地区自治会連合会が「さきたま古墳群を世界遺産に向けての推進委員会」を設置。
平成17年の「さきたま火祭り」へ上田埼玉県知事が出席される予定との情報を得て、地元の世界遺産運動の熱意を知事に感じていただくと言う考えから、行田市役所及び商工センターに「さきたま古墳群を世界遺産に！」の懸垂幕を、現地付近には横断幕を掲げました。

5月4日のさきたま火祭りには、知事を始め、小島衆議院議員、加茂川文化庁次長にもご出席頂き、特に知事は、さきたま古墳群の価値を熱く語って下さいました。さきたま火祭りでの知事のご発言や、懸垂幕の設置については埼玉新聞、東京新聞、朝日新聞で報道されました。

又、火祭り当日に、横田行田市長、鈴木県議会議員と共に行田商工会議所会頭は「世界遺産運動を行政と共に盛り上げたい、現地に大きな看板を作り、先ず地元市民の理解と協力を得て、官民一体でこの運動を盛り上げます。埼玉県の力強いご支援をお願いします。」と知事に訴えました。

埼玉県の反応は早く、翌5月6日早速、埼玉県の担当課よりこの運動と整備に関して電話があり、翌5月9日には埼玉県担当課より行田市役所と行田商工会議所への訪問があり、具体的な打ち合わせが始まりました。

このような状況を経て、徐々にこの運動の具体化が進み始まりました。

行田市では、一般市民への広報の一環として、従来からある観光名刺の他に、新たにキャッチフレーズ入りのさきたま古墳群専用の観光名刺も作りました。

行田市では、市役所内部の調整会議や埼玉県との連絡会議を開催すると共に、平成17年11月1日に「行田市世界遺産登録推進協議会」を設置しました。

行田市世界遺産登録推進協議会

「行田市世界遺産登録推進協議会」は、行田市によって設立され、そのメンバーには、埼玉県からは教育局の生涯学習文化財課長、行田市からは助役、そして行田市議会議員、文化財保護審議委員、行田市自治会連合会、行田商工会議所、さきたま古墳公園整備事業地元推進協議会、さきたま古墳群を世界遺産に向けての推進委員会、さきたま火祭り実行委員会等々の代表と共に、公募の一般市民にも参加頂き、まさに官民一体の協議会が発足致しました。（事務局は行田市文化財保護課）

平成17年11月7日 第1回行田市世界遺産登録推進協議会 開催される。

主な活動方針の承認と組織運営の承認

1 基本的なあり方

さきたま古墳群の世界遺産登録推進について、関係諸団体の意見集約と意思統一を図る。

古墳群・古墳公園の整備・活用、周辺の歴史的環境整備、及び商業観光振興に支援・協力する。

世界遺産登録推進にかかわる全市的な活動計画を策定し、推進する。

古墳群及び周辺地域の、歴史遺産等を生かした街づくりの推進に寄与し、行田市の活性化を図る。

2 中期的目標

さきたま古墳群の史跡整備の推進と特別史跡への格上げ実現を推進する。

さきたま古墳群の古墳公園拡張整備を推進する。古墳群周辺の歴史・観光スポットの整備及び交通アクセスの整備を推進する。

3 最終目標

さきたま古墳群の世界遺産登録を実現する。

さきたま古墳群及び周辺地域を、世界遺産に相応しい街としての環境整備を、実現する。

さきたま古墳群及び周辺地域を、歴史を生かした賑わいのある街としての、街づくりを実現する。

4 活動方針

上記目標達成の為に、埼玉県や行田市の関係機関と連携し、史跡・公園整備の推進に寄与する。埼玉県の「史跡埼玉古墳群保存整備基本計画策定事業」に協力し、史跡整備と特別史跡格上げを支援する。

古墳公園の整備拡張の為に用地先行取得された部分の、史跡公園の早期実現に向けて要望活動を展開する。

古墳群及び周辺地域の歴史・文化に対する市民の理解を深める為、調査・啓蒙・普及活動を展開する。

古墳群及び周辺地域並びに行田市の歴史的・文化的な魅力を広く全国に発信する。

平成18年 2月7日 第2回行田市世界遺産登録推進協議会 開催される。

経過報告と今後の事業展開について

1 経過報告

協議会発足後、行田市、当協議会、及び行田市民の活動が新聞報道される。（12/14 12/19）

特に埼玉新聞の18年1月1日号には、世界遺産推進運動の特集が生まれ、行政と住民が連携した協議会の発足と、「世界に通じる夢とロマンのある古墳にしよう」と地域ぐるみの運動が加速している事が報道された。

テレビ埼玉が、世界遺産推進運動について10分間の特集を組み、18年1月20日に放映した。

18年1月26日 朝日新聞が世界遺産推進運動について、ライバル仁徳天皇陵の動向と共に報道した。

2 今後の推進

行田市民への広報と運動展開を図るための費用を捻出する為に広く支援者を募集する。

支援者はサポーターと呼び、個人、会社、団体（任意、法人）などを対象に広い範囲で募集する。

この運動を象徴するキャラクターを制定し、サポーター募集や広報、費用捻出に活用する。

サポーター募集やキャラクターを活用した費用捻出活動は、当協議会にはそぐわないので、別に民間団体が行なう。

当協議会は、この民間団体と連携・協力して、世界遺産推進運動の目標実現に尽力する。

さきたま古墳群は

5-6世紀の頃の古墳群。9基ある大型古墳のうち4基（二子山古墳、稻荷山古墳、鉄砲山古墳、丸墓山古墳）が100mを超える大きさ。丸墓山は直径105mの日本最大の円墳。他は前方後円墳。

二子山は直径138mで東日本有数の大きさ、周りに周濠が残っている。

將軍山は後円部に実物の横穴式石室と埋葬時の様子を再現した展示室がある。稻荷山は金錯銘鉄剣を出土したことで有名。

金錯銘鉄剣

稻荷山から昭和43年出土。昭和58年に国宝に指定される。115文字が記されており、「辛亥の年」（=47年）や「獲加多支鹵（わかたける）大王」等を読み取る事が出来る。

出席報告

松島雄二 出席委員長

会員数	出席	M U	欠席	出席率
22名	13名	5名	3名	81.8%

例会予定

- 12月2日 年次総会
12月9日 卓話 森林インストラクター
神座侃大 様
12月16日 クリスマス例会

平成2年

- 1月8日 合同新年会（本庄・児玉・上里・本庄南） G本庄
1月13日 卓話 ガバナーエレクト 加藤玄静 様
1月20日 会員スピーチ
1月27日 移動例会（フリーディスカッション） みさご

ニコニコボックス

行田RC 行田サミット委員長 小菅克祥 様
本日は、世界遺産キャラバン隊受け入れ、ありがとうございます。
多くの皆様にサポーターの会へのご入会をお願い申し上げます。

矢部会長

行田RC小菅克祥様、行田商工会議所榎原聖典様、
本日は、ようこそお出で下さいました。

星野幹事

小菅克祥様、榎原聖典様、世界遺産キャラバン隊
ご苦労様です。がんばって下さい。

戸谷会員

小菅克祥様、榎原聖典様、ご両人には、ご遠方より
お出かけ下さいまして、誠にありがとうございます。
よろしく、お願い致します。

山田会員

小菅克祥様、榎原聖典様、ご苦労様です。お世話
になります。

福島会員

小菅様、榎原様、本日は、ありがとうございます。

